

## 第 67 回経営委員会議事概要

1. 日 時：2022 年 4 月 21 日（木）13:30～15:40
2. 場 所：年金積立金管理運用独立行政法人 会議室
3. 出席委員等：・山口委員長 ・新井委員長代理 ・内田委員 ・逢見委員 ・尾崎委員  
・加藤委員 ・小宮山委員 ・根本委員 ・堀江委員  
・宮園理事長

※尾崎委員は Web 会議システムにより出席

### 4. 議事概要

#### 【報告事項】

##### (1) 「監査委員会活動報告（2021 年度第 4 四半期）」

監査ヒアリングを実施したこと、6 回の契約審査会に出席し契約審査会での契約審査は適正に実施されていると考えていることなどについて、委員から報告があった。質疑等の概要は以下のとおりである。

委員 A 執行部が実施しているリバランスについて、取引コストとの関係から今ぐらいの頻度が最適であるという検証をして、職員や経営委員会にも理解が深まるようにしてほしい。

理 事 職員はこのコロナ禍でもいくつもの並行したリバランスを実施して効果を上げており、業務実績評価などを通じて職員が国民の皆様のために一生懸命やっているという姿を見せて広報していきたい。

理 事 業務概況書でお示ししている要因別のパフォーマンス分析や VaR レシオでも今中期計画に入ってから明らかにリスクが下がりリターンが向上しており、リバランスの効果があることが確認できるので、しっかり周知されるように努力していきたい。

委員 B 頻繁なリバランスによってバック部門の業務が過重になっているのであれば、システム投資や人員の補強等の対策が必要ではないかと思う。

委員 C 統合リスク管理について、第 2 線のオペレーションリスクや運用リスクは改善されていると思うが、業務リスクやレピュテーションリスクはどうなっているのか。

理 事 業務リスクの管理については、現場レベルが一番業務に内在するリスクを特定できるというリスク・コントロール・セルフアセスメントの考えの下で、管理している。課題としては、むしろ、その業務を改善していくという方向性のほか、現場レベルだと見落としがちナリスクがあるので、監査室の監査業務を高度化し

ていくとともに、現場とのインタラクティブな取組を検討している。

委員D 在宅勤務の制度化については、柔軟な働き方というのは基本的に推奨すべきであるが、きちんと労働時間管理ができない、特にオーバーワークになった際にどのように修正していくのか、日本の住宅事情から、ワークスペースの確保が難しいなどの問題もある。トライ・アンド・エラーで、課題が出たらその都度どのように対処していくか配慮しながら進めてほしい。

理事 公的機関の中で就業規則まで変えて常態的の制度にするというのは先進的な事例であり、監査委員会の御指導もいただきながら取り組んでいるところである。その中でも勤務管理というのは大きな課題であり、委員からの御指摘についても十分配慮しながら実施していきたい。

委員長 委員からご指摘のあった経営委員会の課題については、私も全体として違和感はない。PDCAサイクルをしっかりと回して、経営委員会として議決事項等についてきっちりとした評価をしていきたい。

組織運営に関する議論の強化については、執行部の組織運営を厳しくチェックしていくということではなく、組織運営あるいは内部管理の基本的な考え方を執行部と経営委員会の場で共有しながら、どのような組織運営をしていくのがよいのか、方向感を考えていくことが大事であると思う。

次期基本ポートフォリオの策定の時期が近づいてきているので、今年度中に重点課題を経営委員会で共有して、はっきりさせておく必要がある。

## (2) 「業務執行状況報告（2021年度第4四半期）」

業務執行状況報告（2021年度第4四半期）について、理事長及び理事から報告があった。

## (3) 「2021年度業務概況書（対応の方針）」

2021年度業務概況書について、2020年度（中期計画1年目）の構成を基本的に踏襲し、その上で、2021年度の実績や主要な取組を追加するとともにより分かりやすい冊子にするための工夫も継続する対応の方針について、執行部から報告があった。委員からの意見等の概要は以下のとおりである。

### （株価指数先物）

- ・先物はリスクが高いイメージがあるので、株価指数先物がリスク低減につながることを国民から見てもわかるように図を用いた解説等工夫してほしい。
- ・株価指数先物が投機的ではないことを記載したうえで、リスク管理につながるという前向きな記載にしてほしい。

### （ロシア資産の取扱い）

- ・まだロシア資産を保有していることを好ましく思わない人もいると思うので、どう判断で今こうなっているかわかるような記載にしてほしい。

### （オルタナティブ資産）

- ・日本特化型PEについて言及してほしい。

### （その他）

- ・クラスター爆弾の製造企業に対する投資に関連して、他事考慮の禁止や投資一任原則等の制約があるのは分かるが、こうした企業への投資残高があることが国民感情としてどうかという見方もあるという意見があり、これに対し法人の使命や体制から見て個別の価値判断に踏み込むことは困難であるという意見があった。

**【その他事項】**

- ・経営委員会規程第9条に基づき、事務局から経営委員の金融事業者からの寄付等について報告があった。

以上